

主催：日経BP 総合研究所

共催：日経クロステック、日経ビジネス、日経メディカル、日経ヘルスケア、日経ドラッグインフォメーション

医療DX Conference

～これからの日本をつくる、「医療DX」の期待と現実を探る～

#PHR／#情報プラットフォーム／#電子カルテ標準化／#医療アプリ／#オンライン診療
#ePRO／#データ活用サービス（生命保険DXなど）／#セキュリティ／#医療DX全般

2024年3月8日（金）開催

開催趣旨



日経BP 総合研究所
リサーチユニット部長
SDGsラボ所長
Beyond Health 編集長
(日経デジタルヘルス 創刊編集長)

小谷 卓也

コロナ禍を通して、日本の医療提供体制の硬直性や脆弱性、医療資源の分散などの問題があらためて顕在化しました。特に、医療現場の混乱を生む一因にもなったのが、患者情報の収集や活用が進まなかったこと。横断的かつ有効な医療情報の収集と活用を、今後推進していくことは不可欠です。負の側面の解決だけでなく、新たな日本型の医療情報の収集と活用の仕組みの整備は、特色ある疫学研究の発展や地域医療連携の進化、製薬や健康関連産業などの拡大につながります。高齢化先進国である日本の医療情報は、世界にも通用する貴重な資産になるはずです。

医療情報の有効な収集と活用を含めた「医療DX」は、政府が2022年6月に閣議決定した「骨太の方針2022」で推進が明記され、政府内には首相がトップを務める「医療DX推進本部」が設置されました。全省庁横断で強力に医療のDXを推進するという期待の一方、その実現には課題も多く残されています。今回のカンファレンスでは、医療DXにかかわる産・官・学・医のキーパーソンを交え、今後のあるべき方向性を探ります。また、日経BP 総合研究所が2023年末に実施した調査（調査対象：生活者/医療従事者/スタートアップ）から、医療DXへの期待と現実を明らかにします。

開催概要

主催：日経BP 総合研究所

共催：日経クロステック、日経ビジネス、日経メディカル、日経ヘルスケア、日経ドラッグインフォメーション

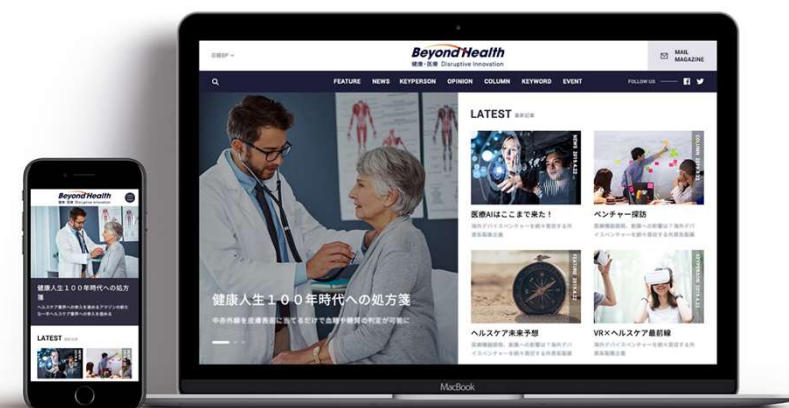
日時：2024年3月8日（金）

開催形式：オンライン ※LIVE配信予定 V-CUBE PLATINUM STUDIO

開催規模：300～500名 ※想定事前登録者数

受講対象：健康・医療分野で社会課題の解決や新規事業を検討する、
企業・自治体のキーパーソンや医療・ヘルスケア関係者

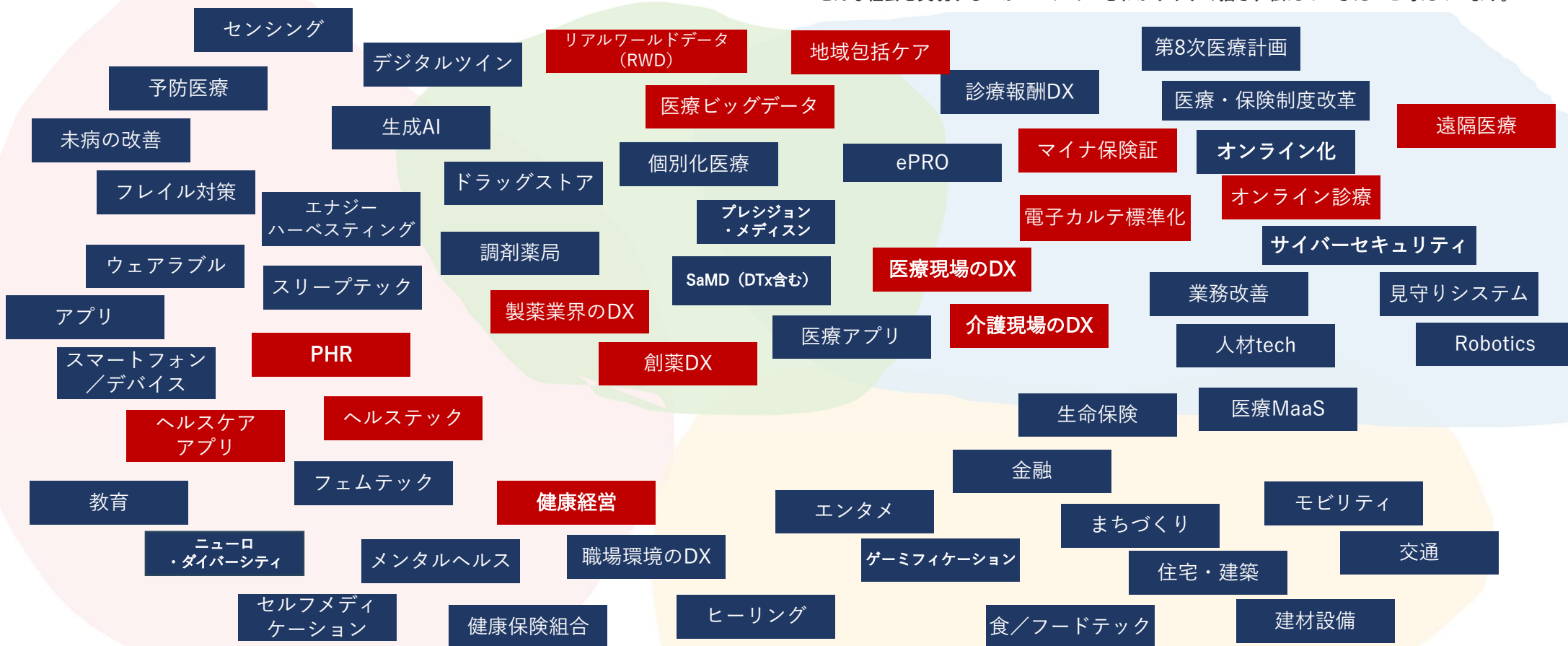
受講料：無料（事前登録制）



■「医療DX」で、日経BPが着目するキーワード

「医療DXによるより良い未来・より良い社会」を実現するために、多岐に広がる医療DXの関連トピックス・プレイヤーをメディアならではの視点で有機的につなげてまいります。

- ▶「医療DX」と一言でいっても、下記のようにかなり広範なテーマとプレイヤーが関係しています。これらは有機的につながっていく必要がありますが、現状ではまだまだ大きなうねりにはなっていません。
- ▶医療・ヘルスケア業界全体で取り組んでいく必要があるのはもちろん、社会に医療DXを根付かせていくためには、医療・ヘルスケア業界の外側にいるプレイヤーも一緒に取り組んでいく必要があります。
- ▶そのために日経BPは、まだはっきりと形が見えないこれらのテーマに取り組み、「医療DX」がどんな社会を実現するのかのビジョンをわかりやすく描き、伝えていきたいと考えています。



「医療DX」のステークホルダー

以下の3者にリーチできる日経BPだからこそ、
皆さんとともに「医療DX」課題に取り組んでまいります。



医療DXを加速させるために、 日経BPならではのメディアと総合研究所の知見を活用していきます。

メディア

×

総合研究所

業界を長くウォッチしてきているメディアと、メディアで培ってきた知見・人脈・情報発信力をもった総合研究所。
また、業界の未来を見通す調査データ群。
読者に【医療・ヘルスケア業界】【テクノロジーをもったプレイヤー】【経営者・オピニオンリーダー層】が揃っているのが
日経BPならではのバックボーンです。

Media : 医療・ヘルスケア業界内外の声を聴き、発信

▼医師・医療従事者向け：日経メディカル



▼医療施設・介護施設経営者向け：日経ヘルスケア



▼薬局・薬剤師向け：日経ドラッグインフォメーション



▼デジタルヘルス技術をはじめ、 テクノロジーを開発している方向け ：日経クロステック



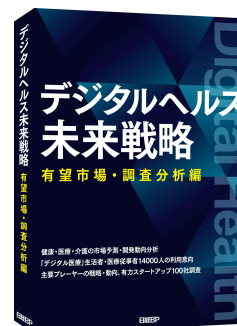
▼経営者をはじめとする ビジネスパーソン、オピニオンリーダー層 ：日経ビジネス



Data類 : 日経BP 総合研究所の調査・データ群

▼レポート 「デジタルヘルス未来戦略」

※前身となる「デジタルヘルス年鑑」
から反響が高いレポート。2023年12
月に最新版を発刊します



▼レポート 「ウェルビーイング市場を拓く技術開発戦略」



▼レポート 「医療・健康ビジネス の未来2023-2032」



▶医療・ヘルスケア業界で
イノベーションを起こそうと
している人たち向けのサイト
「Beyond Health」



想定プログラム

2024年3月8日（木）	
10:30-11:00	主催者セッション：基調講演
11:05-11:35	企業様ご講演枠 1 ※
11:40-12:10	企業様ご講演枠 2 ※
13:30-14:00	主催者セッション：特別講演
14:05-14:35	企業様ご講演枠 3 ※
14:40-15:10	企業様ご講演枠 4 ※
15:15-15:45	企業様ご講演枠 5 ※
15:50-17:20	主催者セッション： パネルディスカッション

時間割は、変更になる場合があります

※企業様のご講演枠では、
・ソートリーダーとして、社会課題に対するメッセージ発信
ソリューション紹介
などご検討いただければ幸いです。研究員との対談形式も可能です。

主催者セッションについて（予定）

- ①官の立場から。厚生労働省、経済産業省の方などを想定。
※「医療DX令和ビジョン2030」の策定に携わった方など
- ②医師・産業界・アカデミアの立場から医療DXの実行策を検討する人物
- ③日経BPから、毎年注目を集めているレポート「デジタルヘルス未来戦略」の要旨を解説

企業様ご講演枠について

医療DXに関連するソリューションを持つ協賛企業の皆様から、最新事例やトピックを紹介していただきます。

Point!

※視聴者の理解を深めるために、貴社講演の冒頭で日経BP 総合研究所の研究員（※次ページ参照）が、ポイント解説をさせていただきます（1～2分のイメージです）

※本番当日前に、貴社ソリューションを理解するためのお打ち合わせを設けさせていただきます

これからお話しいただく〇〇は～



皆様のソリューション講演をサポートさせていただくメンバー（予定）

前述のように、医療DXに関連するテーマやプレイヤーは多岐にわたります。よって、視聴者も様々な分野・お立場の方がいらっしゃいます。そこで今回は、皆様のソリューションが、どんな文脈で医療DXに関わっていて、社会に必要とされているか、視聴者により理解を深めていただきやすいよう、周辺環境のポイント解説などのコメントを冒頭で日経BPより加えさせていただき、皆様の講演へおつながる形をとらせていただきます。（1－2分のイメージです）最新事例やトピックを紹介していただきます。

※本番当日前に、貴社ソリューションを理解するためのお打ち合わせを設けさせていただきます
※以下①～③は現状の予定メンバーです（貴社のソリューション内容などによって、変更になる場合がございます）

これからお話いただく〇〇は～



このソリューションは～



想定メンバー①



小谷 卓也

Takuya Otani

日経BP 総合研究所
リサーチユニット部長
SDGsラボ所長
Beyond Health編集長

ヘルスケアのイノベーションは“病院の外”で起きています。もっと言えば、社会全体がその中心地です。つまり、みなさんが当事者なのです。これまでヘルスケアとの関わりがなかった業種・業界のプレイヤーを交えたイノベーションの必要性を長年、発信してきました。その経験も踏まえ、ヘルスケア分野における新事業構築を様々な視点から支援いたします。

専門分野

デジタルヘルス、ソーシャルホスピタル、医工連携、ヘルスケアベンチャー

経歴

東京工業大学工学部卒。大手電機メーカー勤務を経て、2002年に日経BP入社。『日経エレクトロニクス』記者として、2005年に今後のヘルスケア（医療・健康・介護）分野に起きるイノベーションをいち早く予測した特集「メディカルで種まき」を執筆。以降、同分野の取材を続け、関連する多数の特集や書籍、イベント・セミナーの企画などに携わる。2011年、デジタルヘルスプロジェクト プロデューサーを兼務。2014年1月、『日経デジタルヘルス』を立ち上げ、編集長。2018年12月、医療・健康事業開発部 上席研究員。2019年5月、『Beyond Health』編集長などを経て、2022年4月から現職。

想定メンバー②



藤井 省吾

Shogo Fujii

日経BP 総合研究所
チーフコンサルタント 主席研究員

健康人生100年時代、ダイバーシティ&インクルージョン、SDGs、Well-being...さまざまな標語が躍る現在のビジネスシーン。価値観の大転換が起きています。医療・健康データ活用、食の機能開発、サステナビリティ、フェムテック、フェムケアまで、幅広い領域において、御社の革新のお手伝いをいたします。

専門分野

医療・健康データ活用、老化制御、ヘルス・マネジメント、健康経営、Well-being

経歴

89年東京大学農学部卒業、91年東京大学大学院農学系研究科修士了、農学修士。91年日経BP入社。医療雑誌『日経メディカル』記者、健康雑誌『日経ヘルス』副編集長を経て、2008年～13年まで6年間『日経ヘルス』編集長を務める。14年～17年3月まで、ピズライフ局長・発行人として働く女性の雑誌『日経WOMAN』、健康・美容雑誌『日経ヘルス』、共働き向けウェブマガジン『日経DUAL』、女性を応援するウェブ『日経ウーマンオンライン』を事業推進。2014年には健康・医療の最新情報サイト『日経Gooday』を立ち上げた。18年4月から日経BP総合研究所副所長マネジメントソリューション局長（メディカル・ヘルスラボ所長兼務）。18年～21年まで官・産・学による医療の政策提言組織『21世紀医療フォーラム』を事業として担当。22年4月から現職。

想定メンバー③



庄子 育子

Yasuko Shouji

日経BP 総合研究所
メディカル・ヘルスラボ所長

取材を通じて得られた豊富な人脈は私の財産です。「人生100年時代」が間近に迫る中、日本のヘルスケアは医療・介護の担い手と異業種の「クロス」で新たなステージへ進むことが欠かせません。そのための情報発信・企画、コンサルティングを担います。

専門分野

社会保障行政(とくに医療・介護分野)、医療経営、薬事、ヘルスケアサービス、健康経営

経歴

宮城県仙台市生まれ。東北大学大学院文学研究科美学・美術史学（東洋日本美術史）専攻博士前期課程修了。医療系出版社を経て、2000年9月日経BP入社。『日経メディカル』『日経ドラッグインフォメーション』『日経ヘルスケア』『日経ビジネス』の記者・編集委員として、医療・介護・健康の分野を中心に取材・執筆。その後、日本経済新聞社に出向して美術展業務に携わり、18年8月に日経BPに復帰。イベント事業局で、ヘルスケアの新イベント「日経クロスヘルスEXPO」を企画・立ち上げ。19年4月総合研究所主任研究員。22年4月より現職。

協賛メニュー

		プラチナプラン	ゴールドプラン
協賛料金		580万円	380万円
ソリューション講演枠		30分間	30分間
日経BP研究員との事前打ち合わせ &講演冒頭でのポイントコメント		○	○
リスト提供		当日の全登録者リスト（300名～500名想定）	
講演レビュー	雑誌タイアップ	日経ビジネス5/10発売号 4色2ページ	—
	Webタイアップ	Beyond Health 本イベントレビュー企画内に掲載（5/1-5/31） ※日経ビジネスに掲載したコンテンツから流用 ※レビュー企画は、Beyond Healthの他、日経ビジネス電子版、日経クロステック、日経メディカルOnlineからも誘導します。	Beyond Health 本イベントレビュー企画内に掲載（5/1-5/31） ※雑誌換算4色1ページ程度の分量のコンテンツを掲載 ※レビュー企画は、Beyond Healthの他、日経ビジネス電子版、日経クロステック、日経メディカルOnlineからも誘導します。
個別アンケート		実施可 ※運営ルールに基づく形にて（別途事務局よりご案内）	
二次利用		【ご希望の場合】講演映像／講演レビュー記事 をご提供いたします ※使用期間1年間 自社WEBサイトやイベント・セミナーで使用可（他社メディアやイベント・セミナーでの使用不可）	

①Beyond Healthタイアップサイト
→詳細はp.13

②日経ビジネス電子版からの誘導枠
およびオプション転載について
→詳細はp.14

③日経ビジネス誌面タイアップ
→イメージは以下をご参照ください
（通常、563万円相当）



●ご講演動画の事前収録： 30万円（税別・ネット）

事前収録をご希望の場合は別途上記費用がかかります。内容により費用がかわりますので、詳しくは担当営業にお問い合わせください。

●ご提供リストについて

セミナー受講申込開始後の協賛決定の場合は、パーミッション文に社名を明示した時点以降の登録者のみがご提供対象となります。

●提供リードへの自社セッション出席フラグ付け： 5万円（税別・ネット）

ご提供リストには、本Conferenceへの視聴アクセスの有無についての報告がございしますが、協賛社セッション個別の視聴アクセスの有無と、協賛社セッションの視聴アクセス数の報告はございません。

自社セッションの視聴アクセス有無の付与をご希望の場合は、オプションで承ります。デフォルトの提供項目は、登録者情報、当日の出席有無、自社アンケートの回答になります。

※出席フラグ付けをした場合のリード提供は、セミナー終了後おおよそ10営業日程度でのお渡しとなります（フラグ付なしは5営業日程度）。

個人情報取り扱いに関するルール

日経BPでは顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。
是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

1. 顧客情報の範囲

提供する顧客情報は、「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先（または自宅）住所」「勤務先（または自宅）電話番号」「勤務先（または自宅）FAX番号」「電子メールアドレス」「業種など」の登録された情報のなかで貴社が希望する項目とします。「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

2. 顧客情報の提供方法

顧客情報は「日経BP社 リードジェン支援システム」を使用してご提供いたします。データの取得方法などは貴社ご担当者様宛に弊社からメールでご案内いたします。

問い合わせ先：日経BP社 リード・サポートセンター（E-mail：lgsc02@nikkeibp.co.jp）

3. 顧客情報の利用目的

提供した顧客情報は、その元となった貴社主催または協賛セミナーの内容に関連した、貴社製品／サービスのご案内に限定してご利用ください。

4. 顧客情報の利用方法

提供した顧客情報を元に、最初に顧客に連絡を取る際には、「提供した顧客情報の元となった貴社主催または協賛のイベント名」「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更・削除および情報提供停止の方法」を必ず明示してください。

5. 提供した顧客情報の管理責任について

提供した顧客情報は「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて貴社の責任において管理・運用願います。
万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

APPENDIX

Beyond Health タイアップサイト (Beyond Health Special) パッケージ

講演レビューのタイアップサイトの掲載場所となる、Beyond Healthのタイアップサイトの通常パッケージは以下になります。
今回は、下記に加えて、日経ビジネス電子版・日経メディカルOnlineからも誘導をかけてまいります。

Beyond Health

トップ、カテゴリ、各記事のレコメンド枠、それぞれに固定誘導スペースを設置

タイアップ記事



参考) 通常価格

3,000,000円 (税別・制作費込)

- ・タイアップ記事制作 (取材、執筆、編集)
-約2,500文字程度
- ・4週間掲載 (特別誘導パッケージ)
- ・二次利用権 (素材提供)

日経クロステックからの追加誘導

- 誘導枠 4週間
- ①PC: ピックアップコンテンツ/インフィード広告
 - ②PC: タイアップ一覧
 - ③SP: ピックアップコンテンツ/インフィード広告
 - ④SP: スマホヘッダーパネル
 - ⑤メールマガジン IT分野: 2行X10回



Beyond Health は、健康・医療分野でイノベーションを起こしたい人のためのメディアです。

- ✓ ベンチャー、スタートアップの起業家・経営者
- ✓ 新規事業を模索するビジネスパーソン
- ✓ 健康・医療分野で、社会課題の解決に取り組もうとしている人

ヘルスケア領域で
事業を拡大したい

ヘルスケア領域に
進出チャンスがあるか
見極めたい

健康・医療業界の
真のニーズを
知りたい

課題はあるが、
解決の手法を
見つけたい

新規事業を
立ち上げたいけど
何かいい
アイデアはないかな



APPENDIX

日経ビジネス【雑誌版】読者属性

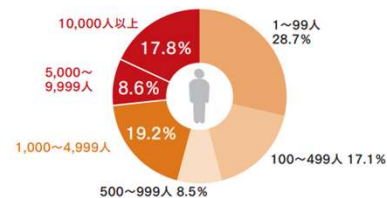
- 週刊（毎週月曜日発行）
- 2022年（1～12月）ABC部数 148,907部

■ 役職 ■



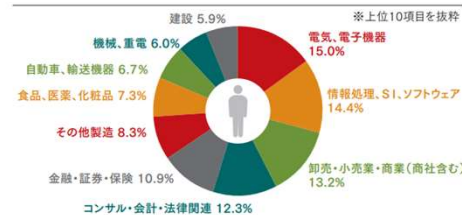
役職者が8割以上

■ 従業員数規模 ■



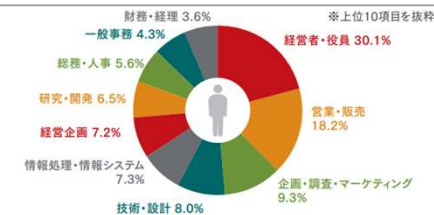
約30%が5,000人以上の大企業で働く読者

■ 業種 ■



多くの産業・業種の読者が閲読

■ 職種 ■



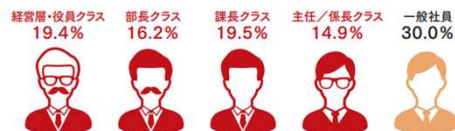
経営者・経営企画が約30%

APPENDIX

日経ビジネス【電子版】読者属性

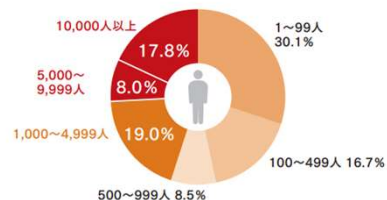
- WEB会員：2,704,030
- メルマガ配信：510,678（2023年10月現在）

■ 役職 ■



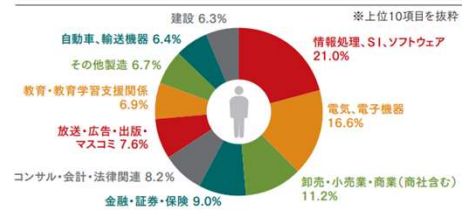
役職者が7割

■ 従業員数規模 ■



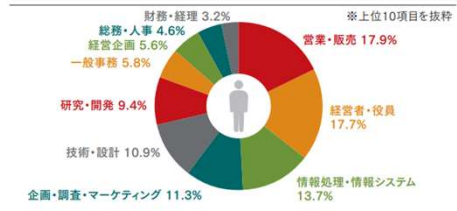
2割強が5,000人以上の大企業で働く読者

■ 業種 ■



多くの産業・業種の読者が閲読

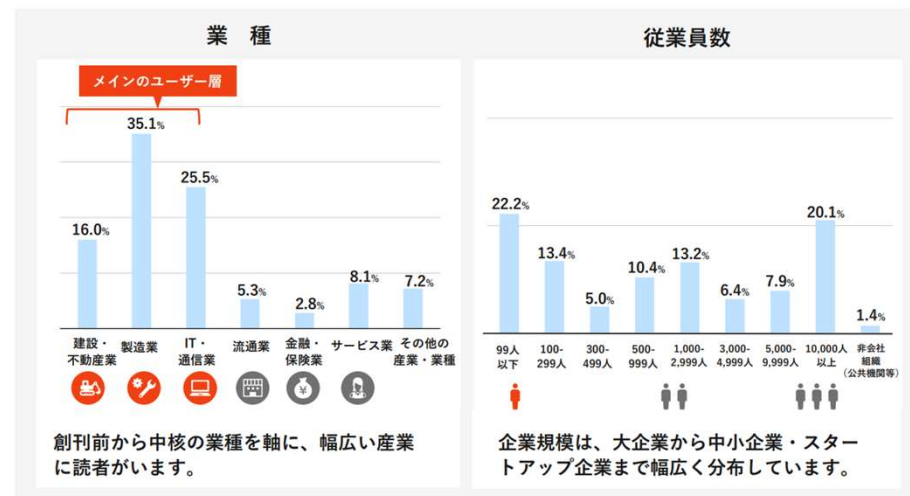
■ 職種 ■



経営者・経営企画が約20%

APPENDIX

日経xTECH 読者属性



APPENDIX

日経メディカル Online 媒体概要



医師や薬剤師を中心とした医療従事者に対して、日常の臨床や研究、医療行政やキャリアアップに役立つ最新情報を提供している会員制サイト。

●総会員数 957,993人（うち医師会員 216,717名） 2023.10月31日時点

登録会員数(2023年10月現在：957,993人)

■主要会員属性	
医師合計	216,717
勤務医	177,270
病院理事長・院長	8,166
診療所理事長・院長	31,281
歯科医師	10,058
薬剤師	192,275
看護師・准看護師	69,406
保健師	3,962
助産師	2,145

APPENDIX

日経ヘルスケア 媒体概要

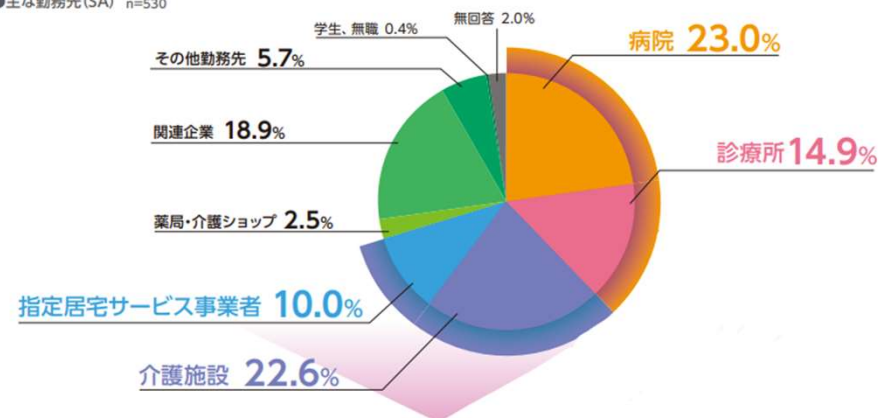


医療と介護の経営情報誌。
 病院長、副院長、理事長、事務長、診療所の
 開業医などの医療施設の経営者、管理者
 や、開業を目指す勤務医。老人保健施設な
 ど介護施設の運営・経営者が対象。

- 月刊・年間予約購読制
- 2021年予約購読部数 14,800部

読者の約4割が医療施設勤務。約3割の読者が介護施設／事業所に勤務

●主な勤務先 (SA) n=530



APPENDIX

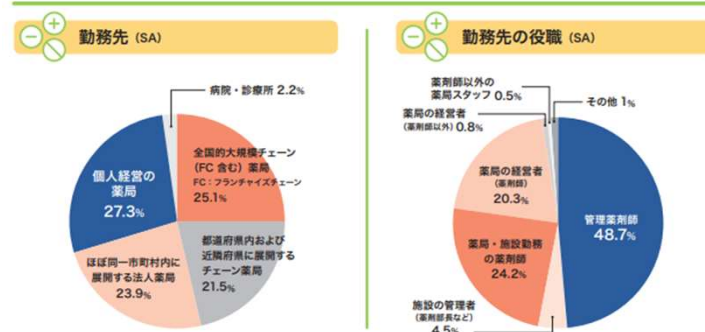
日経ドラッグインフォメーション 媒体概要



薬局・薬剤師のためのスキルアップ&マネジメント
 情報誌。全国の保険薬局・医療機関に無料で送付し
 ています。薬剤師を取り巻く様々な環境の変化を
 タイムリーに切り取り専門誌として深く掘り下げて
 います。

- 毎月1日発行・年間12冊
- 2022年(1~12月)発行部数 91,300部

薬局経営者が21.1%、読者の約半分が管理薬剤師



スケジュール

▶2023年

12月27日（水）

ご協賛申込締切

※ご協賛状況に応じて前後します

▶2024年

1月12日（金）

ご講演情報提出

1月末～

告知サイトアップ

（1月下旬～2月末）

日経BP 総合研究所 研究員との、ソリューション講演の事前打ち合わせ

3月8日（金）

本カンファレンス開催

3月15日（金）頃

受講登録者リストご提供 ※（通常の「イベント全体の出欠フラグを付与されたリード」の提供を選択された場合）

3月22日（金）頃

受講登録者リストご提供 ※（オプションで「自社セッション出席フラグ付け」を追加で依頼された場合）

4月上旬頃

開催報告書ご提供

5月～

講演レビュー 掲載

■お問い合わせ

日経BP

ビジネス企画ユニット

ソリューションビジネス企画部

hnissato@nikkeibp.co.jp